駅南だより

2025年9月号　Vol.88

今回の駅南一般書棚巡りはビジネスコーナー(J)の第四弾、ラストです。
棚6のギャラリー側からのご案内です。

請求番号(NDC)のJ60「産業」も終盤です。J673.9「サービス業」から立ち上がり、棚2連目でJ674の「広告・宣伝」、3連目はJ675「マーケティング」、4連目はJ678「貿易」、5連目ではJ68の「運輸・交通」とJ69「通信事業」と続きます。
「サービス業(J673.9)」とは、顧客に専門的な技術や知識・体験を提供する業種です。例えば、飲食、教育、医療、そして不動産業などとても広い業種が含まれます。
商品やサービスの価値をどのように宣伝・広告するか。広告一般、コピー、ロゴデザイン、チラシや手書きPOP作成などの資料はJ674「広告・宣伝」にあります。顧客のニーズをどのように商品に落とし込み、市場に流通させるかに関する資料がJ675「マーケティング」に並びます。
次は具体的な国内外との取引(J676、J678「貿易」)、物流・交通(J68「運送・交通」)が続きます。J68には人を運ぶ交通(海・陸・空)も含まれ、J689は観光事業となり、観光マーケティング、遊園地(ディズニーランドのホスピタリティ戦略など)やホテル業界、リゾート開発事業に関わる資料が並びます。
「J60:産業・商業」の最後は「J69:通信事業」の棚です。ここにはデータ通信業界のみならず、郵便事業、放送事業までの資料が並びます。
棚5連目の終わりからは「J70:芸術・美術」です。ビジネスコーナーですのでアートビジネス、印刷業界、クリエイター企業の資料、さらには音楽・芸能業界、スポーツビジネスなどの資料が配架されます。
棚6連目はビジネスコーナーの「J80:言語」。スピーチ、話し方、そして会議運営などでのファシリテーションについての資料から立ち上がります。「J81」には文章作成や語彙力の資料が並び、「J820」以降はビジネス外国語です。英語については特にTOEICの資料がメインとなります。ビジネス英語については「J670.9」にもコーナーがあり、この両方の棚をご覧いただくのがベストです。
最後は「J90」の棚。「90」は一般に「文学」です。「J90」の棚2連には「ビジネス小説・経済小説」が並びます。池井戸潤の小説(単行本)はこちらがメインとなります。

棚No.6

J673.9 サービス業
　　⇒リース業、冠婚葬祭会場、福祉産業、飲食店、酒場、不動産業等

J674　広告・宣伝
J674.3　商業美術　⇒コピー、商品写真等
J674.4　広告業界
J674.5　直接広告　⇒POPデザイン等
J674.6　広告媒体　⇒ネット広告等
J674.7 宣伝広告用印刷物　⇒チラシ等
J674.8 屋外広告．交通広告　⇒看板等

J675 マーケティング（一般）
J675.1 商品．商品学
J675.2 市場調査．市場予測　⇒リサーチ等
J675.3 商品化．商品計画
J675.4 販売経路．商品流通機構．配給組織　⇒物流・流通

J676.4 商品取引所
J676.7 投機．相場
J678　貿易

J680 運輸．交通
J681 交通政策・行政・経営
J683 海運　/　684 内陸水運．運河交通
J685 陸運．道路運輸　⇒宅急便等
J686 鉄道運輸　/　687 航空運輸
J689 観光事業
J690 通信事業
J693 郵便．郵政事業
J694 電気通信事業　⇒スマートフォンなど若干
J699 放送事業：テレビ，ラジオ
J700 芸術．美術　⇒アート・ビジネス、アーツ・マーケティング等
J720 絵画　⇒クリエイター、イラストレーター等
J740 写真　⇒印刷業界等　/　75 工芸　⇒デザイナー一般等
J760 音楽　⇒音楽業界　/　770 演劇　⇒映画・演芸の業界
J780 スポーツ　⇒スポーツ・ビジネス

J809.2 話し方　/　809.4あいさつ，スピーチ　/　809.5インタビュー
J809.6会議法
J810　日本語　⇒文章作成、公用文等
J820～890 諸言語
82 中国語　/　83 英語　/　84 ドイツ語　/　85 フランス語
86 スペイン語　/　87 イタリア語　/　88 ロシア語　/　89 その他の諸言語

J900 ビジネス文学
J913.6　日本のビジネス文学　/　J920以降　諸言語のビジネス文学

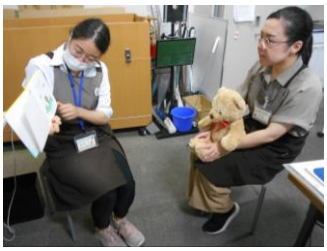
ビジネス支援という観点から構成された「J」コーナーは、いかがだったでしょうか。

次は「健康・医療（H）」にバトンタッチです。

駅南バックヤードツアー

普段は皆さんの目に触れることのない
図書館の仕事の裏側をお見せします。

10. おはなし会



たくさん練習して
本番に臨みます

今回、ご紹介する図書館の仕事の舞台裏は、児童サービスのひとつであるおはなし会です。おはなし会は、読み聞かせ、わらべうたを通して、子ども達に物語や言葉の面白さを伝えることが目的です。市川駅南口図書館では、毎月第2木曜日にキッズステーションで赤ちゃん向けに「えほんの会」を実施しています。
読み聞かせなんて簡単と思うかもしれませんが、おはなし会は家庭と異なり、複数人の子どもと保護者の前で読むので、事前の準備が欠かせません。季節や年齢にあった選書、プログラム作成、練習と、準備に一月以上必要です。毎月の反省からより家庭と読書を繋げるための試行錯誤を重ねています。今年の7月からえほんの会で使用した作品を会終了後に展示をしたところ、ご好評頂き大変嬉しいです。
赤ちゃんに合う絵本が分からない。読み聞かせなんてわかるの？という方は、是非、えほんの会にお越しください。お子さまとの楽しいひと時のために、選りすぐりの作品やわらべうたを用意してお待ちしております。

司書の推し本！

駅南の司書たちのいま一番 "推し"たい
本や作家をご紹介します！

すきま時間にホッとひといき。司書Wの推しは… **エッセイ**

ここ最近は通勤中にエッセイを読むことが多い。ひとつの話が短く、またサラリと読めるものが多いので、読むことに没頭して乗り過ごす…なんてことがないところも大変助かっている。今回は3名の作家さんのエッセイを紹介したいと思う。
群ようこさんは多数のエッセイがあり、その痛快な内容に、年齢は違えどもいつも共感してしまう。長年暮らしたマンションを離れ、新居へ引っ越すまでの『たりる生活』では、断捨離をはじめ、物件探しやライフラインの手続きに奮闘されている様子に、この先の自分にも起こりうること…と勉強させていただいた一冊だ。
千早茜さんの『わるい食べもの』では、食に対するこだわりや偏屈っぷりが何とも言えず、食べ物エッセイとしてはなかなか異色。シリーズ化しているけれど、やっぱり1巻目が著者の偏屈っぷりが強く効いていると思う。
最近は、くどうれいんさんのエッセイがお気に入り。『コーヒーにミルクを入れるような愛』では、ささいな日常をつづっているのだが、著者は歌人でもあるためか、物事の視点やそれを言語化するのがとてもうまいなと感じる。何とも言えない気持ちや、これってこういうことかも、という例えなどが、素直にスッキリと書かれていて、とても読みやすい。
日常の切り取り方に共感したり、ハッとさせられたりするのがエッセイの楽しいところ。読書の秋を楽しむ参考になれば幸いです。（W）

『たりる生活』
群ようこ　朝日新聞出版社
914.6/ム（駅南所蔵あり）

『わるい食べもの』
千早茜　ホーム社
914.6/チ（駅南所蔵あり）

『コーヒーにミルクを入れるような愛』
くどうれいん　講談社
914.6/ク（市内所蔵あり）

司書たちの休息

駅南の司書たちの日常や、好きなこと、おすすめなどを伝えます。

今年の夏は暑かった。皆さんは大丈夫だっただろうか。私はダメだった。倒れることこそなかったが、ほうほうの体で日々を過ごした。そもそも私は生まれも育ちも雪国で、暑さにめっぽう弱い。そして汗っかきである。夏は5分も歩けば汗が噴き出し、口をだらりと開ける姿になってしまう。半死半生でアイスやらかき氷に逃避する私に比べ、暑い暑いと言いながらも、道行く人はなんと涼しげな顔だったことか。よもや私を見て、うすら寒くなっているのではあるまいな、などと沸騰した頭でおかしな考えを巡らせたりした。つまりは錯乱していた。ちなみに、私は夏以外が小綺麗な訳ではない。まだましというだけで、夏はさらに悪化する、という哀しい生き物だ。
ともあれ、なんとか夏も終わりである。こんな私だが、寒さには強いと自負している。そう、寒さに強い。これから迫りくる灼熱暖房に恐怖する季節となる。生きるのがつらい。しかしながら、季節はぼちぼち秋、スポーツに食事に読書、芸術、最高だ。暑くないのがさらにいい。さあ、今は秋を堪能しようではないか。（H）

展示・イベント報告

足元のなかまたち～水辺編～（8月25日）
行徳保護区の水辺、その足元の生物について、スタッフさんから解説していただきました。当日は何種類か実物も展示！（大人1名・子ども2名が参加）

夏休み一日図書館員（7月31日、8月1・8日）
いつも図書館を利用している小学生、中学生の皆さんに、一日だけ図書館のお仕事を体験してもらいました。（小学生12名・中学生3名が参加）

人生を快適に豊かにするスマートフォンの上手な使い方講座（6月28日）
岩間麻帆先生をお招きして、スマートフォンの安心・便利、そして楽しい使い方をレクチャーしていただきました。（28名が参加）

編集後記

えほんの会が近づくと、担当スタッフが練習をはじめます。たまに練習中に居合わせると、わらべうたや絵本の内容で季節を感じることもしばしば。そして私も、えほんの会の出席カードや複数回参加してくれた子へ渡すプレゼントの作成を担っています。補充の声がかかると、参加者やリピーターさんが増えたのだなと実感。図書館の仕事の中でも、嬉しく、そして楽しい作業のひとつです。（副）

市川市市川駅南口図書館　（指定管理者　㈱ヴィアックス）
〒272-0033　市川市市川南1丁目10番1号　I-link タウンいちかわ ザ タワーズ ウエスト3階
【TEL】 047-325-6241　【HP】http://www.ekinan-lib.jp

koromo no mame chishiki

衣のまめ知識

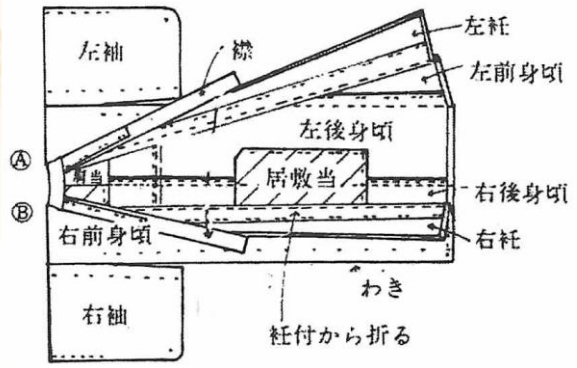
和洋女子大学×駅南連携企画

第5回「浴衣のたたみ方」

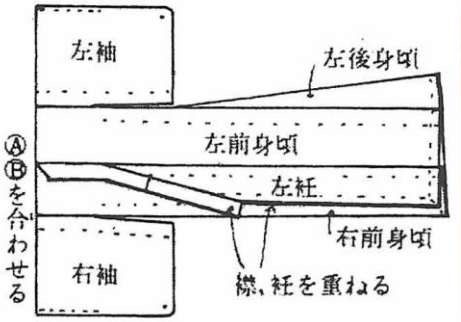
和洋女子大学 服飾造形学科
准教授 伊藤瑞香先生

花火大会やお祭りの場で浴衣姿をお見かけすることが多くなりました。今夏も浴衣を何度となく着用された方もいらっしゃるでしょう。そんな貴方！浴衣をたたのむは難し～面倒くさい～と思っていませんか。さあ一緒にたたんでみましょう。以下は一般的な「本だたみ」の解説です。

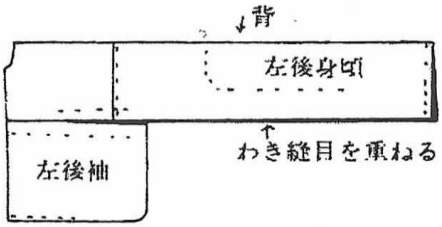
図①肩を左にして平らに広げ、最初に下前の脇で折り、衽の縫い目のところで手前に折る。



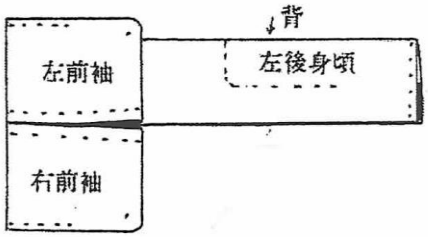
図②上前の衽と衿を下前の衽の上に重ね衿を内側に折ったままⒶとⒷを合わせる。



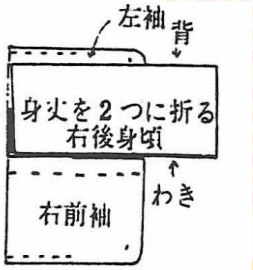
図③上前の脇を下前の脇に重ね、同時に左右の袖もきちんと揃える。



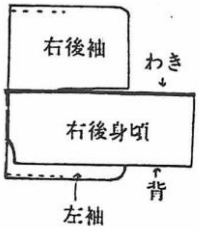
図④上にある左袖を袖付けから折り、身頃の上に重ねる。



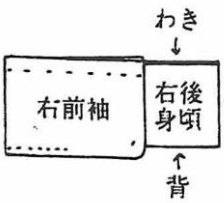
図⑤丈を二つ折りにする。



図⑥肩山と脇を持って身頃と袖を一緒に向こうに返すと、背が手前になり右袖が向こうになる。



図⑦右袖を身頃の上に折り返すと本だたみの完成！



一回着るごとに洗濯をする必要はありません。着用したら着物ハンガーにかけ汗取りをし、たたんでおきましょう。今シーズン最後の着用をしたら、汗や皮脂が付着しているので、洗濯をおすすめします。ご自身での洗濯に自身がない方は、呉服屋さんにお願いしましょう。そのままにしまうと、特に衿や背の部分は汗により黄ばみの原因になります。綺麗にしまっておけば、また来シーズン着用することができます。

参考 永野順子著 ：『平面構成学実習』衣生活研究会 1994